

薬剤部 DI ニュース

結核菌の消毒法

結核の器具による感染として気管支鏡による感染は報告されているが、一般に結核患者の使用した器具による感染は報告されていないので、患者に使用した器具等は使用目的に応じた消毒、滅菌がされるべきです。ただし、結核患者の飛沫や喀痰などで著しく汚染が想定される器具やベッド周りの環境の場合は、必要に応じて結核菌に有効な消毒剤を用います。

結核菌は、他の細菌と異なり菌体の周囲が細胞壁のろう質に覆われているため、これを通過できないグルコン酸クロルヘキシジン（ステリクロン）や塩化ベンザルコニウム（当院未採用）は無効です。

結核菌に有効な消毒薬としては、両性界面活性剤、消毒用エタノール、ポビドンヨード及びグルタラールなどがあげられます。手指消毒には、消毒用ポビドンヨード、速乾性手指消毒薬などを用います。また、器具、機械などには、2%グルタラールへの30～60分間や0.5%両性界面活性剤への2～3時間の浸漬法が繁用されています。喀痰は、1%次亜塩素酸ナトリウムに1～2時間接触させます。（例えば、喀痰：消毒液＝1：10の割合）

消毒対象	滅菌・消毒例
手指消毒	ヒビソフト 消毒用エタノール
器械・器具全般	熱処理可能な物品：高圧蒸気滅菌 テゴー51：0.5%、2～3時間 ディスオーパ：30分以上
金属器械・器具	テゴー51：0.5%、2～3時間
ガラス器具・ゴム製品など	ハイター：0.05%、30分以上 テゴー51：0.5%、2～3時間
各種内視鏡	ディスオーパ：30分以上
リネン類	100℃、15分以上煮沸または高圧蒸気滅菌 ハイター：0.05%、30分以上
環境	テゴー51：0.5%、2～3時間 ハイター：0.05%（清拭）
食器	テゴー51：0.5%、2～3時間 ハイター：0.05%、30分以上
ドアノブ、便座など	消毒用エタノール（清拭）

参考文献

1. 消毒薬の使用指針（第三版）：日本薬剤師会（薬事日報社）
2. 消毒薬テキスト：吉田製薬
3. 消毒剤マニュアル（第三版）：健栄製薬（砂田）